

下町河川 Tomorrow

東京都 江東内部河川流域連絡会の情報紙（会議録）

平成19年3月28日（水）

第26回（第4期第8回）江東内部河川流域連絡会を開催



会議の様子 →

- ・「第26回（第4期第8回）江東内部河川流域連絡会」の会議を、午後2時から約2時間、江東区スポーツ会館会議室において実施しました。
- ・都民委員14名と行政委員10名等が参加しました。⇒名簿は6ページ
- ・主に、第4期流域連絡会のまとめとこれまでの流域連絡会での論点となった事項について、意見交換をしました。

会議の概要

第4期の最後の会合として、「第4期江東内部河川流域連絡会の活動記録（案）」をもとに、意見交換を行いました。具体的には、第4期での都民委員からの意見・提案について「川を知る」、「川の水質」、「河川の利用・ボランティア活動」、「河川舟運」、「防災対策」、「今後の河川整備」に分類し、関連する事例を紹介しながら、意見交換を行いました。

第4期流域連絡会の活動記録（案）について

江東内部河川流域連絡会の第4期の活動記録の原案について事務局から説明がありました。構成は、1. 目的、2. 対象河川、3. 流域連絡会の構成、4. 活動の概要、5. 都民委員からの意見・提案について、6. 委員の意見と感想です。

「5. 都民委員からの意見・提案について」は、上記6項目に分類し、それに対する対応及び方針を項目毎に整理しました。「6. 委員の意見と感想」については、都民委員並びに行政委員の方々から執筆していただきました。

この活動記録は、若干の追加修正をして早急にまとめていきます。

意見項目	今回提出した関連資料
川を知る	・水辺の楽校プロジェクト
川の水質	・江東内部河川の水質測定結果 ・河川水質及び河川底質（江東区資料） ・北十間川浄化施設
河川の利用・ボランティア活動	・荒川市民パトロール
今後の河川整備	・隅田川テラスへの「隅田川にぎわいベンチ」の設置

意見交換のための話題提供① ～水辺の楽校

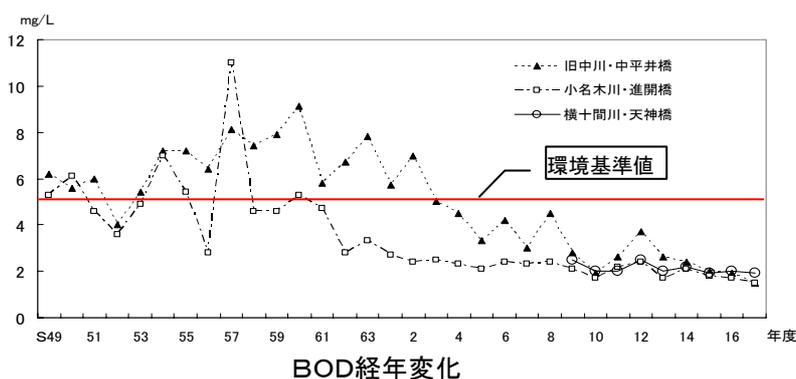
水辺の楽校は、安全な水辺づくりを行い、自然体験の場、遊びの場として活用する仕組みづくりです。「狹江水辺の楽校」の事例では、年間約2000名位の児童が利用しています。運営は市民が担い、イベントを計画し、子どもたちを集めて自然環境教育を進めています。



意見交換のための話題提供② ～水質調査結果

江東内部河川の環境基準はC類型ですが、近年は基準を満たしています。

生物が生息する上で必要かくべからざるDO（溶存酸素）もC類型の基準値を概ね満たしている状況です。



意見交換のための話題提供③ ～荒川市民パトロール

荒川市民パトロール隊は、荒川上流河川事務所と下流河川事務所で開催しています。

活動内容は、日頃、荒川を訪れた時に気づいた様々な情報等を事務所に連絡したり、荒川等についての計画や整備、維持管理や利用に関する意見・要望・質問等を事務所に報告するものです。具体的な内容としては、①荒川等に対する意見、要望、②河川利用上の支障となる行為、③ゴミの不法投棄、④荒川等の水質異常、⑤河川管理施設の損傷、⑥荒川等の自然や河川利用状況、⑦河川清掃の実施、⑧荒川等におけるイベントへの参加等です。

報告された内容は、巡視や現地確認を通して、注意や指導、関係機関への連絡、工事等必要な措置を行い、河川の管理に役立てています。

隊員になるための資格というのは、特に決められていません。隊員の数ですが、平成16年度では上流・下流の事務所に登録された人数が145名、17年度151名、18年度177名です。年齢構成は、8割程度が50代から70代の方です。また、隊員の方々は沿川各地に偏ることなくいらっしゃるそうです。



意見交換のための話題提供④ ～「にぎわいベンチ」

地域と連携して効果があった事例として、隅田川右岸のにぎわいベンチを報告します。

浅草付近の隅田川右岸の隅田公園ですが、ホームレスの問題が非常に大きい河川ですが、地域の振興・観光という面から、花壇整備や利用促進のお話が地元からあがりました。

そこで、吾妻橋から東武線鉄橋までの間、福祉部局と連携しまして、まずホームレスの方々に退去をお願いしました。

その後、地元の方々、浅草の「おかみさん会」、「隅田川を愛する会」等で、フラワーポットを設置し花を植えるというところからスタートしました。その維持管理は、地域の方々、水上バス会社の職員等に手伝ってもらいました。それにより、少しずつ、浅草に来た人たちがテラスに下りてくるようになり、今度はベンチが欲しいという話があがりました。ベンチは、「名入れ寄付制度」をつくって、市民から寄付を募り設置しています。その後、同箇所で開催を行うなど、地域と連携しながら河川に賑わいの場を整備しています。



1. 川を知る

- ◆子供たちに水辺の体験・体感という形で江東内部河川の流域の特徴を伝えていくことが必要だ。
- ◆江東内部河川では、自然の体感以外に、荒川と旧中川の水位が違うというようなことを目で見て知っておくべきだ。
- ◆流域住民に川の存在自体が知られていないなど、川の認識が低い。年中レクチャー等ができるようにしてはどうか。
- ◆小学生といっしょに川を歩いて川を知る。そのような取組を行政といっしょに考えていきたい。
- ◆水辺の楽校のように、水辺に親しむような場所を作り紹介していくことも一つの方法ではないか。

2. 川の水質

- ◆河床のヘドロを全部河川内から除去すればシジミも生息できるのではないか。
- ◆江東治水事務所には旧中川の整備の中でヨシ原の保全をお願いしてきた。ボラの稚魚が相当数生息し、水質浄化にも効果があると思う。水質の浄化は、ヨシ原による自然の浄化、機械的・技術的な浄化があるが、整備の中で進めてほしい。
- ◆ボラやコイ、ヘラブナは汚染に強い魚である。これらが生息していることを手放しで喜ぶのはいかがなものか。
- ◆水質を浄化するためには、流域全体での取組と、水生植物がはえるような護岸にしないといけない。

3. 河川の利用・ボランティア活動

- ◆市民の河川パトロール的な役割（例えば「川守」のようなもの）を町会に1人ぐらい配置すると良い。また、そのような人が災害時の河川利用や避難等について地域の中で人に教えることが出来るのではないか。
- ◆旧中川では、何かあれば地元の住民がチェックしてくれる。生活エリアのチェックは各町会から1人ずつ、土日などに1時間程度で自分のまわりを見ていけば、川を守っていけると思う。
- ◇お話をお伺いして、川を本当に地域に愛されるような川づくりをすることがまず基本だと思った。いい環境をつくれれば河川の適切な利用も進むと思う。
- ◆川で遊んだ経験のある大人が少なくなった。大人を指導しない限り、子供が川で遊べる状況にはならないだろう。
- ◆今は住民が川を必要としていない、川の利用の仕方を開発しないといけない。
- ◆人が集まらなければ誰も川に顔を向けなくなるが、標識サインや桜等の植栽など少しずつでもできることからやればよいと思う。

4. 防災対策

- ◆荒川と旧中川の水位差や、0m地帯であることとそのリスク（水害の危険性）など、子供たちに教えるべき先生がそのことを知らない。先生が知らないから子供たちにも伝わらない。先生を教育する必要がある。
- ◆広域避難場所に指定されている木場公園や猿江恩賜公園には船着場がない。災害時を考えると整備をすべきだ。

5. 今後の河川整備

- ◆垂直な護岸が危険だと思われ川へのつながりをなくす原因ではないか。散策路に水が入り込む場所をつくり、水の中へ入れる場所が必要だ。川へ落ちて怖いという意識を持たせるような整備が大切だ。

第4期2カ年の活動記録

回数	開催日	場所	概要
第1回 (第19回)	平成17年 8月2日	江東区文化センター	江東内部河川の整備事業と河川通航ガイド、都民委員等からイベントの情報提供があり、意見交換をおこなった。
第2回 (第20回)	平成17年 10月31日	墨田区役所	江東内部河川通航ガイド、第3期流域連絡会の活動記録、都民委員からの質問・意見・提案などについて討議した。
第3回 (第21回)	平成18年 1月20日	江戸川区小松川さくらホール	江東内部河川の水質（水質測定結果、合流式下水道の改善対策等）や「東京の水辺空間の魅力向上に関する全体構想」などについて、討議した。
第4回 (第22回)	平成18年 3月28日	江東治水事務所	江東内部河川を活用したイベントや河川敷清掃などや、小名木川の景観整備について意見交換をした。
第5回 (第23回)	平成18年 7月14日	江東区文化センター	平成18年度の江東内部河川での事業の紹介と小名木川の景観整備案について意見交換を行った。都民委員などから江東内部河川で行うイベントについて報告された。
第6回 (第24回)	平成18年 10月17日	墨田区役所	都民委員から江東内部河川で行なったイベントの結果について報告された。 住民ボランティア活動について各区から報告があり、意見交換を行った。 小名木川の景観整備の工事について報告された。
第7回 (第25回)	平成19年 1月19日	江戸川区グリーンパレス	行政委員から観光イベントカレンダーや新川の千本桜構想等について報告された。 防災船着場、北十間川水辺活用構想（素案）、江東区水上バス、扇橋閘門の利用等について報告され、河川舟運について意見交換を行った。
第8回 (第26回)	平成19年 3月29日	江東区スポーツ会館	第4期での都民委員からの意見・提案について「川を知る」、「川の水質」、「河川の利用・ボランティア活動」、「河川舟運」、「防災対策」、「今後の河川整備」に分類し、関連する事例を紹介しながら、意見交換を行った。



流域連絡会の今後の予定

今回で第4期の活動を終了し、次回の流域連絡会からは第5期となります。新しい都民委員の募集については、5月の各区の区報への掲載を予定しています。

江東内部河川流域連絡会・委員名簿

平成19年3月28日現在
敬称略 都民委員は区別・50音順

		住所・団体名	氏名
都民委員	個人	墨田区	阿久沢 八代
		墨田区	石井 貞光
		墨田区	清道 洋一
		墨田区	田中 兼勝
		江東区	菊地 進一
		江東区	氷見 修三
		江東区	山広 勲
		江戸川区	芦田 正次
		江戸川区(勤務地)	堀内 仁之
		江戸川区	山内 久二
	団体	江東区の水辺に親しむ会	須永 椒子
		江東区和船友の会	松島 信治郎
		旧中川灯籠流し実行委員会	江頭 正恭
		小松川平井地区連合町会	谷川 貞夫
	江戸川区ボート協会	渡辺 秀郎	
		所属・職名	氏名
行政委員	墨田区都市計画部都市整備担当道路公園課長	渡辺 茂男	
	江東区土木部水辺と緑の課長	荒川 順二	
	江戸川区土木部計画課長	高井 聖	
	東京都環境局自然環境部水環境課長	池田 茂	
	東京都下水道局建設部土木設計課長	神山 守	
	東京都下水道局東部第一管理事務所ポンプ施設課長	安藤 哲男	
	東京都建設局河川部副参事(河川管理制度担当)	小谷 健	
	東京都建設局河川部副参事(総合治水・低地河川防災計画担当)	大八木 猛	
	東京都建設局第五建設事務所管理課長	本間 秀生	
	東京都建設局江東治水事務所内部河川工事課長	伊藤 政行◎	
東京都建設局江東治水事務所水門管理課長	土屋 彰夫		

◎ 座長

連絡先：江東内部河川流域連絡会事務局（東京都江東治水事務所内部河川工事課内）

担当：吉岡、田村

TEL：03-3692-4945(直通) FAX 03-3696-6499

Email-address：S0200225@section.metro.tokyo.jp